

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 エスビー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 雅也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 (氏名) 寺尾 隆一郎

TEL 03-3558-5531

兼財務管理室長

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	61,855	△1.2	2,153	38.6	2,144	56.3	1,311	91.4
25年3月期第2四半期	62,612	△1.6	1,554	△41.1	1,371	△42.6	685	△29.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,542百万円 (141.4%) 25年3月期第2四半期 638百万円 (△41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	188.80	—
25年3月期第2四半期	98.59	—

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。「1株当たり四半期純利益」は、前期第2四半期、当期第2四半期共に前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	101,920	31,808	31.2
25年3月期	98,578	30,214	30.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 31,808百万円 25年3月期 30,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成25年10月1日を効力発生日として実施した普通株式5株につき1株の割合とする株式併合を踏まえております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△0.3	4,000	11.0	3,700	11.8	2,100	21.6	302.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期よりたな卸資産の評価方法の変更を行っており、「会計方針の変更」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,977,117 株	25年3月期	6,977,117 株
26年3月期2Q	33,104 株	25年3月期	32,197 株
26年3月期2Q	6,944,760 株	25年3月期2Q	6,947,839 株

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融緩和政策による株価回復や円安進行の動きから景気回復の兆しが見られるものの、一方で、欧州の債務問題や新興国の成長鈍化など懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向が依然として強いことから、個人消費持ち直しの影響は限定的であり、また、原材料価格に高止まりの傾向がみられるなど、厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。お客様の視点に立った製品開発や営業活動を継続いたしますとともに、経費削減活動を推進し利益の確保に努めてまいりました。また、スパイスやハーブの魅力をさらに多くのお客様にお伝えするため、食の総合的なプロモーションを展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7億56百万円減の618億55百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比8億93百万円減の562億14百万円（同1.6%減）となりました。

(2) その他

売上高は、前年同期比1億36百万円増の56億41百万円（同2.5%増）となりました。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、10ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

利益面におきましては、売上高は減少したものの原価低減や経費削減により、営業利益は前年同期比5億99百万円増の21億53百万円（同38.6%増）、経常利益は前年同期比7億72百万円増の21億44百万円（同56.3%増）となりました。また、前年同期に発生した投資有価証券評価損がなくなったことなどから、四半期純利益は前年同期比6億26百万円増の13億11百万円（同91.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して33億41百万円増加し、1,019億20百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加42億80百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して17億47百万円増加し、701億11百万円となりました。これは主に、借入金の増加25億27百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して15億94百万円増加し、318億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加13億69百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上の状況を勘案し、平成25年5月14日に発表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想の売上高を修正しております。

なお、利益面は概ね計画通りに推移いたしましたことから、変更を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産の評価方法は、従来、主として移動平均法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法に変更しております。この評価方法の変更は、原価管理の向上を目的として、標準原価計算制度を導入したことを契機に、これに適するたな卸資産の評価方法を採用したことによるものであります。

当該会計方針の変更は、過去の連結会計年度に関するたな卸資産の評価の算定に必要な標準原価の情報が入手不可能であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、前連結会計年度の期首時点において算定することが実務上不可能であるため、総平均法に基づく第1四半期連結会計期間の期首のたな卸資産の帳簿価額と、前連結会計年度の期末におけるたな卸資産の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

また、第1四半期連結会計期間の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額により、税効果を考慮した利益剰余金の遡及適用後の期首残高は2億97百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,479	21,760
受取手形及び売掛金	24,592	23,084
商品及び製品	4,427	4,618
仕掛品	984	1,309
原材料及び貯蔵品	4,749	4,811
その他	7,949	7,768
貸倒引当金	△620	△649
流動資産合計	59,564	62,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	10,025	9,787
機械装置及び運搬具 (純額)	4,480	4,317
土地	10,066	10,058
その他 (純額)	1,833	2,255
有形固定資産合計	26,405	26,418
無形固定資産		
のれん	19	17
その他	602	570
無形固定資産合計	622	588
投資その他の資産		
投資有価証券	5,737	6,070
その他	6,988	6,883
貸倒引当金	△739	△743
投資その他の資産合計	11,986	12,210
固定資産合計	39,014	39,217
資産合計	98,578	101,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,998	10,482
短期借入金	26,403	26,622
未払法人税等	1,093	974
賞与引当金	1,091	1,078
資産除去債務	—	52
その他	10,215	10,125
流動負債合計	49,801	49,336
固定負債		
長期借入金	8,774	11,083
退職給付引当金	6,179	6,165
債務保証損失引当金	396	401
資産除去債務	120	124
その他	3,092	3,001
固定負債合計	18,562	20,775
負債合計	68,364	70,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,344	5,339
利益剰余金	25,850	27,219
自己株式	△123	△121
株主資本合計	32,815	34,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257	1,481
土地再評価差額金	△3,835	△3,839
為替換算調整勘定	△22	△15
その他の包括利益累計額合計	△2,600	△2,373
純資産合計	30,214	31,808
負債純資産合計	98,578	101,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	62,612	61,855
売上原価	36,251	35,764
売上総利益	26,360	26,091
販売費及び一般管理費		
販売促進費	14,830	14,361
その他	9,976	9,576
販売費及び一般管理費合計	24,806	23,937
営業利益	1,554	2,153
営業外収益		
受取利息	57	53
受取配当金	63	67
不動産賃貸料	18	17
貸倒引当金戻入額	—	81
為替差益	—	16
その他	106	86
営業外収益合計	245	321
営業外費用		
支払利息	334	311
貸倒引当金繰入額	62	—
為替差損	16	—
その他	14	19
営業外費用合計	428	331
経常利益	1,371	2,144
特別利益		
投資有価証券売却益	0	92
貸倒引当金戻入額	4	—
債務保証損失引当金戻入額	1	—
受取保険金	7	—
その他	3	22
特別利益合計	16	114
特別損失		
固定資産売却損	0	21
固定資産除却損	21	37
投資有価証券評価損	386	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
債務保証損失引当金繰入額	—	5
その他	8	26
特別損失合計	419	90
税金等調整前四半期純利益	968	2,168
法人税、住民税及び事業税	377	968
法人税等調整額	△94	△111
法人税等合計	283	857
少数株主損益調整前四半期純利益	685	1,311
四半期純利益	685	1,311

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	685	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	224
為替換算調整勘定	△8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△46	231
四半期包括利益	638	1,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	638	1,542
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	968	2,168
減価償却費	1,273	1,281
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	67	△13
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	5
受取利息及び受取配当金	△121	△120
支払利息	334	311
固定資産売却損益 (△は益)	△0	21
固定資産除却損	20	35
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△92
投資有価証券評価損益 (△は益)	386	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,851	1,608
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△139	△96
その他の資産の増減額 (△は増加)	79	△377
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66	△515
その他の負債の増減額 (△は減少)	△178	△275
その他	△14	23
小計	712	3,986
利息及び配当金の受取額	121	120
利息の支払額	△344	△320
法人税等の支払額	△685	△1,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	△196	2,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△899	△1,017
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△162	△75
投資有価証券の取得による支出	△1	△3
投資有価証券の売却による収入	22	109
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	526	350
長期貸付けによる支出	△50	△360
長期貸付金の回収による収入	50	360
その他	10	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△504	△627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,460	2,490
長期借入れによる収入	1,725	5,050
長期借入金の返済による支出	△2,468	△5,012
配当金の支払額	△243	△243
その他	△75	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,397	2,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,685	4,276
現金及び現金同等物の期首残高	15,427	17,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,112	21,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	57,107	5,504	62,612	—	62,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	5	△5	—
計	57,108	5,509	62,617	△5	62,612
セグメント利益	1,285	246	1,532	21	1,554

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額21百万円は、セグメント間取引消去21百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	56,214	5,641	61,855	—	61,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	56,214	5,641	61,855	—	61,855
セグメント利益	1,951	179	2,131	21	2,153

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額21百万円は、セグメント間取引消去21百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	57,107	56,214	△893	
スパイス&ハーブ	10,043	10,487	444	シーズニングスパイス、フレッシュハーブ (増加)
即席	15,736	14,089	△1,646	即席カレー、即席シチュー (減少)
香辛調味料	14,643	14,314	△328	ラー油関連製品、チューブ製品 (減少)
インスタント食品その他	16,685	17,323	637	レトルトカレー、パスタソース (増加)
その他	5,504	5,641	136	調理済食品 (増加)
計	62,612	61,855	△756	